

## 司法試験委員会会議（第53回）議事要旨

（司法試験委員会庶務担当）

### 1 日時

平成21年2月4日（水）14:00～15:15

### 2 場所

東京地方検察庁刑事部会議室

### 3 出席者

#### ○ 司法試験委員会

（委員長）高橋宏志

（委員）奥田隆文，鈴木誠二，羽間京子，松島 洋（敬称略）

（幹事）小山太士（議題（2）のみ出席）

#### ○ 司法試験委員会庶務担当（法務省大臣官房人事課）

林 眞琴人事課長，中村芳生人事課付，山口久枝人事課付，遠藤洋一試験管理官

### 4 議題

(1) 平成21年度旧司法試験第一次試験合格者の決定について（協議）

(2) 選択科目の見直しについて（報告）

(3) 平成21年新司法試験考査委員の推薦について（協議）

(4) 平成21年新司法試験の出願状況について（報告）

(5) その他報告案件

(6) 次回開催日程等について（説明）

※ 議題(2)については、司法試験委員会議事細則第5条第2項に基づき議事録を作成

### 5 配布資料

資料1 平成21年新司法試験の出願状況について

資料2 平成20年12月26日付け群馬弁護士会名の「法曹人口と法曹養成に関する決議」

### 6 議事等

(1) 平成21年度旧司法試験第一次試験合格者の決定について（協議）

○ 平成21年度旧司法試験第一次試験について、旧司法試験第一次試験及落判定考査委員会議の判定に基づき、総得点470点以上の16人を合格者とすることが決定された。

○ 旧司法試験の受験手続及び運営に関する規則第10条に基づく合格者の氏名の公告は、平成21年2月12日（木）付け官報により行うこととされた。

(2) 選択科目の見直しについて（報告）

【高橋委員長】小山幹事から選択科目の見直しに関する検討状況について御報告をお願いします。

【小山幹事】選択科目の検討会の進行役を務めております司法法制課長の小山です。新司法試験の選択科目につきましては、これまで、御指示を受けて幹事会を構成し、2回の幹事会を開催しております。現在までの検討状況について、若干御説明いたします。

まず、既に、各法科大学院に対しまして、授業内容の詳細のアンケートを発送しました。それにつきまして、現在集計作業中でございます。実は、一部の法科大学院からの回答が遅れたり、アンケートの趣旨が伝わっていなかったといった事情で、回答に不備があったものがございまして、そこにまた再照会をかけるなどしたことによって、回答結果の整理に時間を要しております。なるべく早く終えたいと思っております。

また、幹事会におきましては、これとは別に選択科目に関する実務的な重要性や社会的ニーズに関する資料の収集という、基礎的なデータの収集も行っております。これは、例えば、日弁連が平成19年から平成20年にかけて実施しました弁護士ニーズに関するアンケートの調査結果、現在の選択科目に関連しました各種の訴訟事件数等の、基礎的なデータの収集を行っております。

さらに、平成21年新司法試験の選択科目別の出願人数等のデータについても収集して検討しているというところであります。

ですから、まだ検討は途についたばかりでございますけれども、そういうデータを一通りそろえまして、いろいろ選択科目に関係する学者の先生方等にもお話を伺ったり、関係する役所の話を知りたりもしながら、データを収集して、議論を進めていきたいと考えております。今後も、当委員会の方にも経過を御説明させていただきたいと思っております。私からの報告は以上でございます。

【高橋委員長】ありがとうございます。ただ今の御報告につきまして、御意見・御質問があれば。

【鈴木委員】現場サイドからのニーズを吸い上げるのは、アンケート以外に何か方法があるんですか。

【小山幹事】どこを現場と見るかにもよりますが。まず、訴訟事件数については裁判の現場サイドについてですし、それから、それ以外にも社会的なニーズというのがあるのかなと思っております。我々だけでは、ニーズの取上げ方が間違っただけではないので、どういうところのデータを集めるか、集める可能性があるのかというのを、各分野の先生方に意見を伺いながら進めたいと思っております。

【高橋委員長】御指摘のとおり、なかなかニーズというのは何をとらえるか難しいでしょうね。訴訟だけでは狭すぎると思いますし、かといって、そうではないニーズの量というのなかなかとらえにくいということがあろうかと思っております。

【松島委員】参考までに、日弁連でも、各弁護士会の単位会や日弁連の各委員会にも意見を聞いていまして、その集約を図っていると思います。選択科目ということとは少し違う内容もあるかもしれませんが、どういうニーズがあって、実務家にとって重要なことは何か、というようなことで、いろいろ議論があるようです。幹事の井上弁護士も、そのことは御存知だと思います。

【小山幹事】井上幹事から、日弁連において集められた意見や情報については、お伝えいただけたと思います。

【高橋委員長】それでは、引き続きお願いします。本日はありがとうございました。

- (3) 平成21年新司法試験考査委員の推薦について（協議）
- 平成21年新司法試験考査委員として、別紙記載の者を法務大臣に推薦することが決定された。
- (4) 平成21年新司法試験の出願状況について（報告）
- 事務当局から、資料1により、平成21年新司法試験の出願状況について説明がなされた。
- (5) その他報告案件
- 群馬弁護士会から、法務大臣あてに、資料2「法曹人口と法曹養成に関する決議」が提出されたことについて、事務局から報告がなされた。
- (6) 次回開催日程等について（説明）
- 次回の司法試験委員会は、平成21年3月30日（月）に開催することが確認された。

（以上）

平成21年新司法試験考查委員推薦候補者名簿

実務家委員 1名

山 崎 耕 史      知的財産法      法務省大臣官房司法法制部付

新司法試験考查委員の職を解く者

実務家委員 1名

坂 田 吉 郎      知的財産法      法務省大臣官房司法法制部参事官